

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

5 2 1 多様な活動主体の参画による 地域社会づくりの推進

52101 多様な活動主体による協働の推進（生活部）
52102 県民の社会参画活動への支援（生活部）

（主担当部局：生活部）

< 施策の目的 >

（対象）地域における多様な活動主体が

（意図）ネットワークを形成し協働しながら、あらゆる分野の社会活動に参画している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
行政(市町村・県)から 市民への移行事業数 (事業)	目標値	-	40	50	60
	実績値	30	41		

行政（市町村・県）が実施してきた事業のうち、NPOやボランティア団体など市民自らが行うこととなった事業数の累計

< 平成 18年度に残っている課題 >

地域の多様な思いの実現や地域課題の解決のためには、これまでのように行政が単独であらゆる公共の分野に関与するのではなく、県民一人ひとりやNPO、企業等の多様な主体と行政が各々の個性や能力に応じて適切に役割を分担し、協働して地域を創造する「地域主権の社会」の実現が必要となります。

このためには、NPO等と行政の協働がますます重要となり、協働の定着とより質の高い協働を推進するうえで、協働のルールや協働事業の評価など協働のしくみが一層充実し、十分に浸透していくことが不可欠です。

また、各地域におけるNPO等に対して、自主的・主体的な社会参画活動を一層充実していけるよう、引き続き支援を行うことも重要です。

< 平成 18年度の施策の取組方向 >

NPO等と行政との協働のルールや両者による協働事業評価、NPO等からの提案を受けて協働していくしくみなどの一層の充実・浸透を図るとともに、県事業において一層質の高い協働を推進するための職員研修や協働を担う人材育成等に取り組むことにより、協働事業の質を高めていきます。

「みえ市民活動ボランティアセンター」の機能の充実や、市民活動に関する情報誌・ホームページの充実等により県民の主体的な社会参画活動の活発化、多種・多様化を支援・促進するとともに、地域の中間支援組織がそれぞれに基盤を強化して、地域の活動の拠点となっていくよう支援します。

<主な事業>

「新しい時代の公」協働推進事業

【基本事業名：52101 多様な活動主体による協働の推進】

当初予算額： 7,004千円 5,373千円

事業概要：先導的、試行的に取り組む「新しい時代の公」実践・提案事業として、職員の人材育成と、協働の評価のしくみを全庁的に推進するとともに、県民等と行政の役割分担や協働のルール、新しい参画システムを県庁各部に広めます。

また、「協働事業ふりかえりのしくみ」や「協働のルール」など、協働のしくみの全庁的な定着・浸透を図り、多様な形態の協働事業の質を高め、効果的に実施できるよう取り組みます。

(新) 地域における多様な主体の「対話の場」形成事業

【基本事業名：52101 多様な活動主体による協働の推進】

当初予算額： - 千円 6,026千円

事業概要：地域において多様な主体同士が対等な立場で話し合う場（対話の場）をつくり、対等な協力関係の中で地域課題を解決していく手法を学びあうとともに、みんなで共に築く地域主権社会の実現を図ります。

さらに、その対話の場を地域の中間支援組織が運営し、中心的役割を担うことで組織の育成と強化を図り、地域における「新しい時代の公」の実践を広めます。

NPO活動支援推進事業【基本事業名：52102 県民の社会参画活動への支援】

当初予算額： 21,026千円 21,274千円

事業概要：「みえ市民活動ボランティアセンター」の機能の充実、市民活動に関するホームページや各種情報誌等を活用した情報発信、「中間支援組織」との協働によるNPO等の活動支援や交流・ネットワーク化の支援及び中間支援組織の基盤強化等に取り組みます。